

「弘法大師の清水」を訪れて

鈴木 康裕

令和4年8月20日に開催された名水探訪(上市・魚津方面)に参加し、名水の簡易水質測定や清掃活動に汗を流しました。特に、一度も訪れたことがない「弘法大師の清水」を楽しみにしていました。全国に弘法ゆかりの名水は、約1,500か所余りあると言われています。そのすべてが弘法ゆかりだとは、とても思えません。上市町の弘法水は、比較的水温も低く、この水が一番美味しいという人もおられます。研究者によるとこの弘法水の全国的な類似点があり、一例をあげれば、霊水や薬水として利用されているものが多く、湧出量が少量だそうです。

また、地元では、頭がよくなる水(特殊な薬水?)として親しまれています。だから、受験生を伴う親子が多く訪れています。頭がよくなる水と言えば、平成の名水百選に選定された「いたち川の水辺と清水」の延命地蔵水が浮かびます。ノーベル化学賞に輝いた田中耕一氏がこの水を愛飲されていたそうです。私も子供の頃、この水を飲んでいたら……。 (笑)

富山の水

新村 行雄

富山は立山連峰をはじめ、三方を山に囲まれ、山々に降る豊富な雨や雪解け水は、急流河川を汚れることなく流れ、地中で花崗岩などの地層によって浄化され、良質な水となっています。このため、いたるところにおいて清らかな湧水や井戸水があり、豊富な水量で良好な水質の河川水や地下水に恵まれています。私たちは日頃、この良質でおいしい水を飲み、きれいで豊富な水をおおいに利用しています。

また、景観とあいまって、きれいな水質の滝や峡谷、豊かな水をたたえた湖沼、良好な水質で豊富な水量の河川、美しい水辺の環境、きれいな海、豊かな大地と自然環境を創り出しています。

この恵まれた水のある環境は、人々の心を和ませ、潤いや感動を与えてくれ、快適な生活ができています。私たちは、水と共に生活しており、かけがいのない財産です。今後もこの恵みを得るため、富山のこの優れた水環境をいつまでも守り続けていきたいと思えます。



園家湧水
清掃活動
10/8



そのほか
園家湧水の庭：園家山キャンプ場(入善町)のそば

コラム

地球の水と生命の起源

理事長 青木 正樹

宇宙航空開発宇宙機構と海洋研究開発機構は、45億キロ以上離れた太陽系の果から飛んできた小惑星が太古の地球に水や有機物を届けた可能性があると8月度に専門誌に発表しています。これは探査機はやぶさ2の運んできた小惑星りゅうぐうの砂を分析して推測されたものです。誕生直後のマグマに覆われた地球にどのようにして豊富な水が存在するようになったのかは、実はまだ詳しく分かっていません。分析により炭酸水と生命の元となるアミノ酸が検出されています。今私たちが、生活する地球の豊富な水と生命の元になる物質が遠い小惑星によりもたらされたという推測は、地球で生きている私たちが奇跡と思えるような事象の重なりでここにいるということを知られますね。そんな貴重な水を私たちの世代で汚してしまつては後世の人たちに申し訳ありません。私たち一人一人の心掛けで良い水を残して行きましょう。